

えでぴあ

12

立川と語ろう 立川に生きよう

December 2010

Écoutez Bien Vol.29 No.313

表紙の人／^{フヤス}栗原惟安さん(中央左)、^{カズトシ}一雄さん(右)、^{サトアキ}敏彰くん(左)、^{ヒロヒデ}啓榮くん(中央右)(高松町)



山に魅せられて

立川女子高校山岳部

高橋流 初心者のための登山教室

⑤

指導：高橋清輝

アシスタント：内山道子

山岳写真：桃井尚志、富島和子 協力：立川女子高校山岳部、同OG会

サヤの夢だった3千メートル級高峻山岳の大縦走。
舞台は南アルプス白峰三山。
夏山合宿2日目は、
いよいよ日本で二番目に高い北岳(3,193m)に登る。

山の朝は早い。まだ薄暗闇の中、昨夜先生から「明日が一番辛いぞ」と予告された「草すべり」の急登を開始する。これまでの合宿で教わってきた歩行技術「歩幅は狭く、一定のペースで歩くこと(私達の山岳部では40～50分歩いて10分休憩)、靴底(ソール)を地面にフラットに置き、体重は全体に平均して掛ける。歩幅に合わせ呼吸も一定のリズムですること。登りは心持ち前傾姿勢が望ましい」を思い出しながら登り続ける。後ろを振り返ると白根御池畔のテントが小さくなっていく。ひたすら登り。一体いつ終わるのだろう。心が折れそうになる。(早く休憩にならないかな)心の中でこんなことばかり考える。

高度につれてダケカンバからハイマツとなり、お花畑の群落到歓声を上げると、まもなく小太郎尾根に出た。心地良い稜線の風を全身に感じながら肩ノ小屋の前を通り、岩稜をひと頑張りですぐに北岳のピークに立つ。「立川女子高校山岳部、ファイトー！」円陣を組み、伝統のエールをカ一杯叫ぶ。パーティー全員の握手が終わりジュースで乾杯すると、正直泣きそうになった。

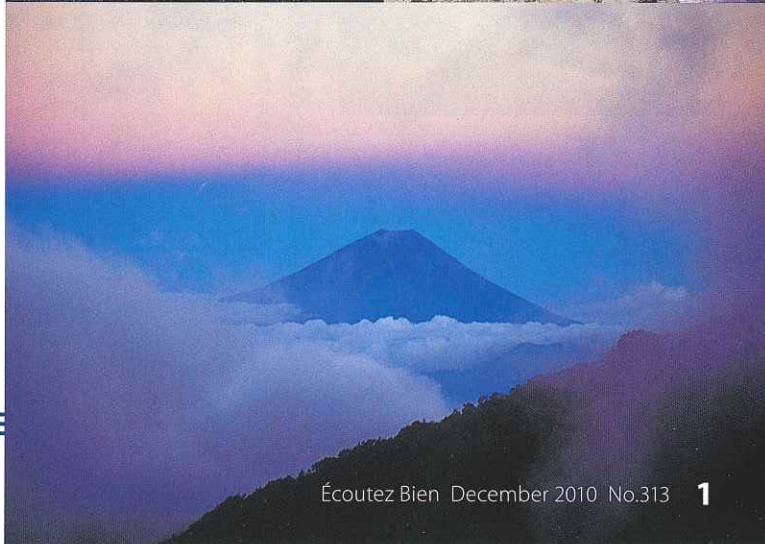


感動の余韻を引きながらも山頂を後にし、目指す幕営地まではザレ場(ガレ場よりも小さい石や砂の崩壊地)の急下降。再び先生から浮石とスリップ注意の声

が掛かる。緊張が途切れそうになる頃、まもなく北岳山荘前の幕営地に到着。安堵感と同時に「この水場は遠いぞ」との先輩の話を思い出し複雑な心境。一山を上り下りするぐらいの体力を使っただけの水汲み。「これも大縦走の醍醐味」とは先輩の弁……。

夕日に聳える北岳の雄姿を仰ぎながら苦しさの中にも心は満足感で一杯だ。ヤバイ。完全に山にハマったかも。

(「サヤの登山日誌」から。次号へ続く)



国文研のツボ！ それが「保存管理」

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国文学研究資料館 研究部

准教授 青木 睦 さん

国文研の地下に行くとも膨大な資料が整然と並んでいる。静かなはずの収蔵庫。

でもなんとなくザワザワするのは、昔の人の声が聞こえるから？

今回は保存管理の専門家、青木睦先生の登場だ。

——保存のお話ということですが、先生はどんなことをなさるのですか？

青木 国文学研究資料館には、国文学に関する古典籍・和古書が三万七千点、歴史資料が約五十万点収蔵されて

います。国文学研究資料館の前身が品川の戸越にあり、ここにある古文書は、歴史的に重要な江戸時代の資料を戦後の動乱で散逸してしまうのを防ごうと昭和二十六年に文部省史料館が設立された時からのものです。今で言うアーカイブズ（記録遺産）ですね。資料を出納したりするにはアーカイブズの内容についてレファレンスもしなくてはならない。それには古文書が読めなければというので、私は大学一年から江戸時代の古文書を勉強していたので一応古文書も読めたし。大学卒業してからここで働いています。資料を整理して目録を作って、平行して、資料自体が劣化しないようにどう保存するかということも誰かがやらなきゃならないわけで。それならということ。ここに乾燥させている状態の宿紙があるけれど。

——宿紙ってなんですか？

青木 江戸時代のリサイクルペーパー。色が違うでしょ？グレーになっているのは煮溶かしてリサイクルすると墨が混じるから。これは信濃国松代藩の真田家の古文書。——本物？

て、あと音。そういったオリジナルだからわかることを、ちゃんと調査できるように保存されていなきゃならないわけ。

——すごいお仕事だ……。古いものはさっきの資料みたいに虫もつきまよふね。

青木 そう。これを食べたのはシバンムシ。

——どの虫が食べたのかわかるんですね。

青木 うん。これがフルホンシバンムシ。でもあれを食べたのはケブカシバンムシの方だと思う。穴が大きいんですよ。こっちは子孫がちっちゃいから食べるときの幅が違うわけね、この子の。

——この子（笑）。

青木 幼虫の時しか食べないんだけどね。大人になったらもう食べない。あとは結婚相手を探すだけ。本の敵はだいたいこのシバンムシで、甲虫類です。あとチャタテ虫って小さいミジンコみたいな透明なんだけど黒く見える……。

——よく古い本開けると、チチチチって歩いているあれ！

青木 うんうん。あとイガはよく洋服につきまよふね。シミ（紙魚）っていうのは表面をなめるけど、穴を開けてしまうのはシバンムシです。洋服が食われるのはイガとかヒメマルカツオブシムシ。これはすごい。外にシーツとか白いものを干すと、成虫が飛んで来てそこに卵を産むの。それをしまつて押し入れに入れるとそこで幼虫になって食べちゃうわけ。

——外に干さない方がいいのか……。

青木 そういう虫の性質をよく知って、薬剤をできるだけ使わないで一番貴重なものを保存管理するところ、それほどでなくていいところとか分けて、集中的に管理するところにトラップをかける。メスのフェロモンを置いてオスを捕まえる。オスが少なくなると結婚できないから、子どもが少なくなる。そうやって減らすんです。虫が入って来ないようにするのも大事なので、当館は全部に網戸がついています。

——極地研にもついています？

青木 ついてます。ただエントランスについていなかったのはショックだった。

——保存管理ってただ湿度と

青木 本物！本物しかないの、超！五十万点。

——すごい。

青木 資料をお見せする時に、わかりやすくするためにこうして資料に影響ないようにラベルを貼るんです。資料には表題なんか書いてないから、この資料を読んで、例えばこれは真田の家臣が行事に出席する順番が書いてある。家老が書いたもの。メモ書きとか断片かなと思われものもこうして表題をつけて保存します。その際に、ラベルでもなんでも不純物が入っていて資料に影響が出してしまうように、一つひとつ材料は検査して使います。ラップ類なんかもそういった安全試験を通すのですが、それと同じです。

——これは虫食いなんですか？

青木 そう。閲覧する時に丁寧に見てもらえば大丈夫な場合はそのままにしますが、見づらいつきはちょっと留めたりします。

——つまり修復ですね？

青木 専門的な修復はしませんが。専門的な修復士は日本でも若い人が多く育って頑張っています。ここでやる

か温度の管理しているだけかと思っていました。

青木 それはもちろんしてます。保存管理って部屋の掃除と同じ。どこがどう汚れているかまずチェックするでしょ？ 資料保存も環境チェック、温湿度、粉塵、カビ、虫のチェック。その中に収納されている資料の状態をチェックする。まず保護措置しておいて、次の段階で「ああ虫食いがありましたね、リーフキャストイングしましうか」って進める。ちゃんと保存してあればすぐにやらなくてもいいわけ。だから修復も大事だけれど、その前にちゃんと保存することが大事です。急激な変化を避けることも重要で、正倉院だって除湿はしているけれど温度はそのまま。展示するために外に出たりするわけだから、保管状況だけ一定にしている意味がない。

——なるほど。

青木 当館もそう。急激に低温にしたり低温にしたりするわけじゃないです。資料を移動する範囲の中での環境の変化をとにかく小さくしておく。こういう場合判断を間違えないために、日本だけじゃなくて海外の事例、建物の構造や材質も調べます。塗料なんか国内で大丈夫でも、海外の場合にはもっとシビアなことがありますからね。これまでもアメリカ、カナダ、北米、ヨーロッパ、各国、イギリス、ドイツ、オランダ、中国、韓国……。今は韓国のこの施設が一番すごいです。今の世界的レベルでも最も良いと思われる部分は全部取り入れてますね。

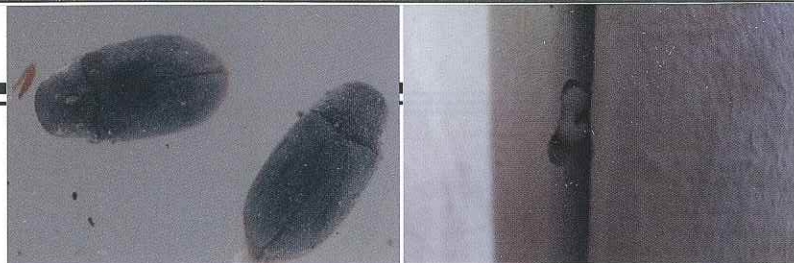
——日本はどうなんですか？

青木 日本はもう一歩かな。コンパクトに自分の資料を守るために必要最低限のことはやっている。意識はあるのに予算がつかないかな。

——予算がつかないということはやっぱり意識が低いんじゃないですか？ 重要性を感じないとか。

青木 そうそう。だからアピールしなきゃいけない。ただアピールのしやすさってありますよね。立川からタクシーに乗って「極地研」っていうとすぐわかるけど、「国文学研究資料館」って何やってんですか？」って。

——でも国文研には国文研の面白さがありますよ。深いし、日本人でよかったなうって思わせてくれるから。



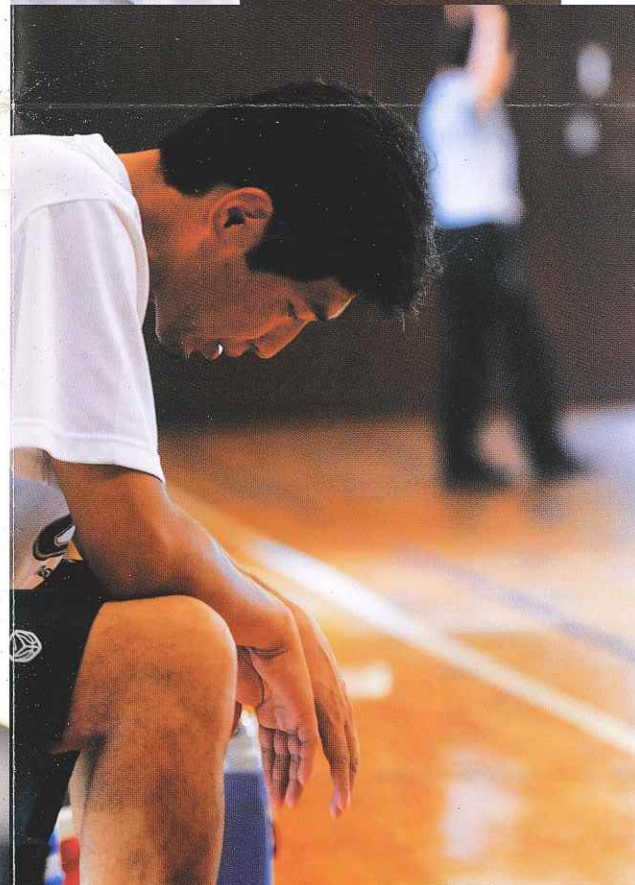
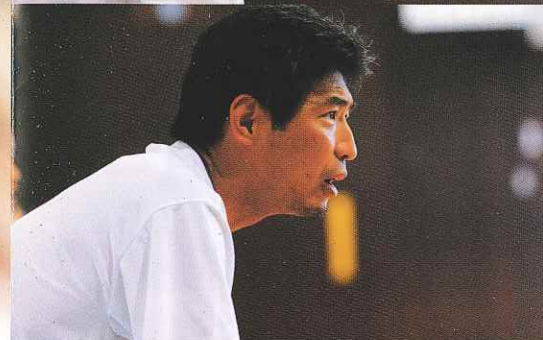
フルホンシバンムシの成虫と幼虫



頭でプレーする!

FJBCコーチ —— 白鳥 聡さん

小学校の教員になって22年。
ミニバスケットのコーチになって同じ年数を数える。
卒業していった子どもたちの中には、
同じバスケットの指導者になった者もいれば、中学に進んで全国優勝した子もいる。
立川のカリスマコーチ。この夏、その表情を追った。



2010年7月17日。この日、ユニフォームと新しい背番号が渡された。夏に向けて新しい体制を組むためだ。コーチの顔をチラチラ見ながら練習を続ける子どもたち。夏休みのスケジュールも決まった。ほぼ毎週練習試合を繰り返す。市内や近隣のチームとの試合だけでなく、山梨への遠征、奈良サマーキャンプ。白鳥さんは言う。「スタミナが一番つくのは試合です。練習はどんなに一生懸命やっているように見えても、どこかしら子どもは手を抜いている。でも試合は相手がいるので手を抜けない。必死になって全力を出す。だから力がつくんです。試合こそが一番の練習ですね。」

FJBC——立川市立第四小学校児童が中心のミニバスケットチーム。コーチは白鳥聡さん。なかなか笑わない、口数も少ないちょっと恐い存在。小学生男子のサッカー人口は多いが、女子は断トツでミニバスなのだそう。普段の練習は基礎基本を徹底的に繰り返す。練習中コーチがよく口にする言葉は「自分で判断しろ」「考えろ」だ。白鳥さんはミニバスの指導を通して、何を子どもたちに教えているのか。

「バスケットは頭を使うスポーツです。本当に頭のいい子はすごくいいプレーヤーになる。試合中よくベンチから指示し続けているコーチがいますが、あれが本当に子どものためになっているのかどうか。必要な時にガツと言うことはありますが、基本的には子どもたちが自分で何をすればいいかを判断してプレーするように伝えているので。ベンチが静かなんじゃないくて、子どもに考えさせているだけです。ミニバスを通して判断力や考える力を育てたい。」

9月12日。所沢市並木小学校での練習試合。そこには夏休みを超えて激変した子どもたちの姿があった。GWには愛知県へ、サマーキャンプは奈良県へ。東京の枠を超えて全国を知ることが子どもたちの喜びに通じているという。自信に満ちた動きは、ただ体を動かすというより理屈を知った動きに変わっていた。脳みそが動いている——そんなバスケットになっていた。

えくてびあんの輪

えくてびあんはリストのお店にいつもあります。
今月は 曙町・羽衣町・錦町 のお店です。

若菜町

輸入雑貨 BASE26	548-4326
スパゲティ専門店 はしや	528-2338
フランス家庭料理 ラ・フランス	529-5522
ビックカメラ 立川店	548-1111
Wine&Dining るもん	527-3022
飲食店 玉河	522-2654
三菱東京 UFJ 銀行 立川支店	524-4121
ローソン 立川曙町二丁目店	526-7652
カフェ アバン	527-4479
からあげキング立川店	512-8567
ダイエー立川店	525-0331
手打ちそば しえ もと	529-5468
サイクルショップ シンボ	522-6211
天ぷら わかやま	525-0222
スペイン料理 ロス・クアトロ・カス	528-1654
多摩水族館	524-0288
すし 魚正	522-3437
園部肉店	522-2901
Cut Studio SOFIA	528-3241
Cloud Cafe	527-1414
立川市女性総合センター アイム	528-6801
三田花店 立川高島屋店	526-4187
エミリーフローグ 高島屋立川店	526-9788
立川高島屋 サービスフロア	525-2111
パレスホテル 宴会係	527-1111
オリオン書房 ノルデ店	522-1231
(株) JTB 法人東京 西東京支店	521-5550/5585
元祖つづ麺 味幸	527-4701
鉄板焼 千珠	529-6787

羽衣町

額縁専門店 プリムベール	528-6789
多摩信用金庫 東立川店	524-0611
林歯科	522-5657
中島豆腐店	522-5732
フレッシュフルーツ 立川商店	522-3565
化粧品 OZAWA	522-3749
本・事務用品 泰明堂	522-3353
文具のないう	522-3677
テラー安武	522-4820
赤松タバコ店	524-7852
まごころ銘茶 狭山園	527-0146
ギリシャ料理 SHUPOUL	519-3923
美容室 ヒロイン 紅	526-0018
蕎麦処 かめ井	524-8101
お好み焼きともんじゃ焼 こけし	526-1267
鉄板 Daining Restrant Archange	528-2904

錦町

めがね・とけい・補聴器 カワハラ	525-4427
鳥料理 くし秀	522-7692
イタリア料理 トラットリア ドン・ジェ	512-8735
御菓子司 やな瀬	522-3969
宮地楽器 MUSIC JOY 立川南	526-1779
中国料理 五十番	522-7472
一六珈琲	527-1680
手づくり味噌の材料専門店 北島こうじ店	524-3190
new gyoza 1059 餃子天国	526-2283
イタリアンダイニング asa	529-5668
ワインバー パル アラディ	523-3917
テーブルウェア H.works	521-2721
CAFE SOMMEILLER	527-1440
食堂 marumi-ya	528-6226
手うち蕎麦 なかさと ばさーじゅ	524-5758

jorakugajo

真如苑提供番組「常楽我浄」

スカパーフェクTV: 216ch
マイ・テレビ アナログ: 11ch
デジタル: 111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

街の話題

立川レシピ〈うどピラフ〉

泉町にある立川市役所 新庁舎。1階にある喫茶コーナー「Café はあにもい」に、立川ならではの〈うどピラフ〉が登場！西側テラスにはオープンカフェスペースもあって、柔らかな光とさわやかな風が気持ちいい。「Café はあにもい」は、一般就労を目指す障害のある方々が夢や希望を持って働いているお店。和やかな雰囲気ながら、〈うどピラフ〉のような挑戦もあって楽しい。野菜たっぷりのスープと一緒に、どうぞ。



立川駐屯地 航空祭

9月19日、立川駐屯地では毎年行われている航空祭が、今年も多くの方を招いて開催された。圧巻の編隊飛行、ハラハラドキドキのパラシュート空挺降下、みごとなドリル演奏。自衛隊の日ごろの活動を知るにはいい機会かもしれない。

走った！笑った！泣いた！

——箱根駅伝予選会開催

10月16日9時。秋にしては暑いくらいの日差しの中、第87回箱根駅伝予選会がスタートした。平成12年第77回から立川で行われている予選会。開催には多くの縁の下での力持ちが必要だ。えくてびあんでは立川市陸上競技協会に密着。その模様は1月号でお届けします。



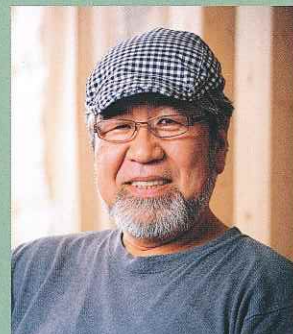
この人この店〈89〉

カレー工場 Haiji ハイジ

オーナー 吉見 秀樹さん



えくてびあんスタッフはカレーが大好き。香辛料が効いていて、でもトロツとしていて胃にやさしいカレーが食べたいときはここです。和風印度カレーの「Haiji」。たとえば野菜カレーを注文します。野菜ベースのブイヨンやセットのサラダを含めると、30品目をあつという間に超えてしまうヘルシーさ。お得なツインカレーは7種類のメニューから組み合わせ自由で2種類のカレーが選べます。今日は煮込み料理のような大根カレーと定番チキンカレー。夜のメニューからは「ちょいのみセット」。エビとしそのスティック春巻きとタンドリーチキン、そこにビールがついて1000円です。えくてびあんが Haiji を知ったのはもう4年前。センタービルやファールでおいしいカレーを売っていたのが Haiji でした。お店を開いて4ヶ月。カレー屋さんの増えた立川で、オーガニックで頑張っています！



〒190-0023
立川市柴崎町2-2-26
TEL 042-548-0812
営業時間 11時30分～15時 17時～21時

野菜の王国 産直レシピ ⑤

このコーナーはJA東京みどり 立川みなみ農産物直売所の協力をいただいています

野菜のことは野菜をよく知る人に聞くがいい。
野菜のおいしい食べ方を、生産者に紹介してもらおうコーナーです。
いつもの調理法、今日はこんな風に変えてみませんか？



〈野菜揚げ浸し〉と 〈冬瓜の含め煮〉

◎レシピ◎

〈野菜揚げ浸し〉

材料 (4人分)

- ・かぼちゃ 200g ・なす 6本
- ・れんこん 150g ・椎茸 10個
- ・パプリカもしくはカラーピーマン
- ・ししとう
- ・だし、砂糖、みりん、しょうゆ (市販のめんつゆでも)

作り方

- ① だしをとって、砂糖、みりん、しょうゆで少し濃いめに味をつけておく。
- ② かぼちゃ、なす、れんこん、しいたけ、ししとう、カラーピーマンをさっと素揚げして油を切る。
- ③ ししとうとカラーピーマン以外の野菜を①に浸す。
- ④ 浸した野菜を器に盛り、汁を上からかけてししとうとカラーピーマンを飾る。

〈冬瓜の含め煮〉

皮をむいた冬瓜を適当な大きさに切り、だしと薄口しょうゆで煮る。
器に移し、煮汁をあんかけにし上にショウガを載せる。

表紙の人

栗原惟安さん (中央左)、一雄さん (右)
サトアキ 敏彰くん (左)、啓榮くん (中央右)

高松町のお米屋さん。屋号は「横町屋」。江戸時代中期から立川に住む由緒正しい立川人。敏彰くん、啓榮くんが9代目。お兄ちゃんはカメラが面白くてしょうがない。まだ小さい弟くんはやっぱりお母さん。「ひろく〜ん」と呼べば、ほらこんなステキな笑顔になります。母は強し！



かたこと

◆表紙の人の栗原さん。江戸時代からの立川人とは。惟安さんのお父さんは第一小学校に通っていたそうです。◆古文書の保存法。すごい技術です！古文書が読めて、歴史や背景を理解していて、紙の性質を知っていて、保存方法を知っていて、整理もできる……青木先生、すごい！◆雰囲気があって近寄りたミニバスのカリスマ！それにしても驚いた。ベンチから飛ぶコーチの言葉。どのチームも相当きつい。けれど子どもたちは平気でプレーを続ける。若いと心も柔軟なんだな、きっと。◆山おんなのサヤ。秋合宿へ。「山の雨はすごくこわい。急に増水した沢。流れの速い濁流にかかる丸太橋は、どこを踏んでもすべる。本当に命がけだった」そうです。立派な指導者ががついているけれど、サヤちゃん、ハルちゃん、命は大切に。ケガをしないでがんばってください。◆本年7月号まで表紙の写真を撮って下さった細江英公先生が文化功労者に。立川の皆さんとともにお祝いしたいと思います。えくてびあんでは「細江英公記念号」を発行したばかり。先生おめでとございました！

えくてびあん◎

12月号 第29巻 通巻313号

平成22年12月1日発行
発行 有限会社えくてびあん
〒190-0023
東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
TEL 042-528-0082
FAX 042-528-0065
URL www.tamatebakonet.jp
発行人 黒須 環
企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ
デザイン 池田隆男
(WATER DESIGN ASSOCIATES)
印刷 三浦印刷株式会社

無断転載を禁じます。



いはいやえん 中川李枝子 作 大村百合子 絵

中川李枝子、大村百合子姉妹の作品。「いはいやえん」を知らなくても「ぐりとぐら」と言えば、「ああ、知ってる」という人が多いに違いない。もちろん私と娘、もつとと言えば私の母の愛読書のひとつ。

「いはいやえん」は、4歳のやんちゃなしげるが主人公。ちゅーりっぷほいくえんに通っているが、ある日お父さんが買ってくれた真っ赤な自動車が気に入らなくて朝から機嫌が悪い。なんでも「いや」というしげるをお母さんは「いはいやえん」に連れて行ってしまふ。「いはいやえん」ではいやなことはなくていい。赤がいやなしげるは、おやつのおやつの赤いリングは食べられない。

だって、赤がきれいなんだから。いやだと言ったからお弁当もない。隣のえむくんはサンドイッチを食べている。きれいなほうれん草をパンの間から引っ張り出して捨てながら。

息子や娘が幼稚園に通っていた頃、食が細くてなかなかお弁当が食べられなかった。そんな時、手作りの箱にサンドイッチを入れてみる。私にも母がそうしてくれたように。そして一言添えてあげるのだ。「この箱はね、魔法の箱なんだよ」子どもたちはいつも空の箱を持って帰ってきた。

えくてびあんスタッフ(恵)

今月のパン

Bakery Café Crown

立川市錦町 2-4-2 TEL 042-526-2226

営業時間 午前 8 時～午後 7 時